

NEURO2019

第42回 日本神経科学大会

The 42nd Annual Meeting of
the Japan Neuroscience Society

第62回 日本神経化学会大会

The 62nd Annual Meeting of
the Japanese Society for Neurochemistry

飛翔する脳科学：
命と心の接点

Brain Science Takes Flight:
Bridging the Mind and Life

2019年7月25日(木) - 7月28日(日)
July 25-28, 2019

会場 朱鷺メッセ(新潟市) Venue: Toki Messe (Niigata)

第42回 日本神経科学大会 大会長

岡本 仁 (理化学研究所)

President: Hitoshi Okamoto (RIKEN)

第62回 日本神経化学会大会 大会長

那波 宏之 (新潟大学)

President: Hiroyuki Nawa (Niigata University)

<http://www.neuro2019.jnss.org>



各種協賛案内趣意書

ご挨拶

謹啓

この度、第 42 回日本神経科学大会と第 62 回日本神経化学学会大会の合同大会を NEURO2019 と名付けて、2019 年 7 月 25 日（木）から 28 日（日）にかけて新潟朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター（新潟市）で開催する運びとなりました。日本神経科学学会と日本神経化学学会の合同大会は、2013 年の京都大会より数えて 6 年ぶりとなります。

かつてヒト脳や神経の動作原理を理解しようと日本神経科学学会は神経生理学を基盤に、神経化学学会は神経化学を基盤に両学会は数十年前に発足し、これまでそれぞれの道を歩んできました。しかし昨今、ヒト脳科学研究や基盤神経研究はおおきな広がりを見せ、生物学や医学、薬学はもとより経済学、心理学、情報工学、システム工学、教育学、化学を巻き込んで、脳科学から社会行動や経済現象のシミュレーションを行おうとしています。まさに脳科学、神経研究はボーダーレス化しています。このようなときに、多角的、学際的な学問の融合を目指して本合同大会 NEURO2019 を企画しました。

脳を構成する神経細胞・グリア細胞の分子操作技術、神経回路の操作技術、ヒト脳活動の可視化技術、計算論的脳科学などの飛躍的発展によって、現代の脳科学では神経系細胞の集合体が「こころ」の様々な諸機能をどのようにして生み出すのかを理解すること、また、病態としての神経・精神疾患の原因を究明し治療法を探ることが可能となってきました。このように人類が脳の働きを根本的に解明できる素地が整ったことを踏まえて、世界では脳研究を飛躍的に進展させるための脳科学推進政策が取られています。

このように神経科学や神経化学研究の展開がグローバル化している情勢の中で、NEURO2019 では、日本神経科学学会と日本神経化学学会が協力して本合同大会を組織し、将来の更なる「飛翔する脳科学：命と心の接点」というスローガンを掲げて、脳科学の現在の最前線を俯瞰した上で、将来への展望を議論できる場所を提供したいと考えています。そのため、NEURO2019 では、従来の外国人研究者のプレナリー講演、国内の著名研究者の特別講演、臨床連携プログラムに加え、若手の育成を重点事項と捕らえ、口頭発表枠の拡充、加えて教育セミナー、若手道場を計画し、初心者から大学院生や研究員にいたるまで、基礎知識から先端領域への幅広い学びと討論の機会を設定します。

つきましてはこの NEURO2019 に対し、貴社のご協力、ご賛同を頂戴したく、下記のようにご案内申し上げます。是非とも、多数のご応募を心よりお待ちいたしております。末筆になりましたが、貴社のますますのご繁栄とご発展のお祈り申し上げます。

謹白

第 42 回日本神経科学大会
大会長 岡本 仁

第 62 回日本神経化学学会大会
大会長 那波 宏之

■開催概要

- 名称 和文名 第42回日本神経科学大会 第62回日本神経化学大会 合同大会
 英文名 Neuro2019
- 大会テーマ 飛翔する脳科学：命と心の接点
 (Brain Science Takes Flight : Bridging the Mind and Life)
- 会期 2019年(平成31年) 7月25日(木)～28日(日)
 ※ただし4日目(7月28日)は13:30までの予定となっております。
 教育講演、シンポジウム、一般口演が予定されており、ポスター発表、附設展示会、ラン
 チョンセミナーは行いません。
- 会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

○開催の目的と意義

脳を構成する神経細胞・グリア細胞の分子操作技術、神経回路の操作技術、ヒト脳活動の可視化技術、計算論的脳科学などの飛躍的発展によって、現代の脳科学では神経系細胞の集合体が「こころ」の様々な諸機能をどのようにして生み出すのかを理解すること、また、病態としての神経・精神疾患の原因を究明し治療法を探ることが可能となってきました。このように人類が脳の働きを根本的に解明できる素地が整ったことを踏まえて、世界では脳研究を飛躍的に進展させるための脳科学推進政策が取られています。

このように神経科学や神経化学研究の展開がグローバル化している情勢の中で、日本神経科学会と日本神経化学会が協力して本合同大会を組織し、旧来の枠を越えた神経科学と神経化学研究の「飛翔」躍進を目指します。この目標に向けて、多分野にわたる世界トップクラスの研究者によるプレナリーレクチャーと特別講演、シンポジウムや教育講演を開催し、参加者の最新知識と先端技術の拡充、分野間の交流の場を提供します。特に若手研究者や脳科学入門者の「知識、技術、交流」のレベルアップを目的として、朝早くから夜遅くまで多彩な企画を盛り込んでいます。

○開催計画の概要

- ・プレナリーレクチャー
- ・特別講演
- ・シンポジウム
- ・教育講演
- ・受賞記念講演
- ・一般口演・ポスター発表
- ・ランチョンセミナー
- ・機器 試薬 書籍 等展示会

- 予定参加者数 約3,000名

■大会組織

大会長

岡本 仁
那波 宏之

理化学研究所 脳神経科学研究センター 意思決定回路動態研究チーム
新潟大学 脳研究所 分子神経生物学分野

実行委員長

上口 裕之
武井 延之

理化学研究所 脳神経科学研究センター 神経細胞動態研究チーム
新潟大学 脳研究所 分子神経生物学分野

実行委員

五十嵐 道弘
池田 和隆
小泉 修一
竹林 浩秀
豊泉 太郎
花嶋 かりな
松元 健二
南 雅文

新潟大学
東京都医学総合研究所
山梨大学
新潟大学
理化学研究所 脳科学総合研究センター
早稲田大学教育・総合科学学術院
玉川大学 脳科学研究所
北海道大学大学院薬学研究院

プログラム委員長

吉原 良浩
橋本 均

理化学研究所 脳神経科学研究センター システム分子行動学研究チーム
大阪大学大学院薬学研究科 神経薬理学分野

プログラム委員

天野 睦紀
天野 薫
天野 大樹
有賀 純
井口 善生
磯田 昌岐
磯村 宜和
糸原 重美
井ノ口 馨
今井 猛
岩里 琢治
岩田 修永
漆谷 真
生沼 泉
大木 研一
大須 理英子
大塚 稔久
岡 良隆
小川 園子
小口 峰樹
奥野 浩行
尾上 浩隆
加藤 忠史
上川内 あづさ
川内 健史
菊水 健史
喜田 聡
北野 勝則
喜多村 和郎
久場 博司

名古屋大学大学院医学系研究科
情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター
北海道大学大学院薬学研究院
長崎大学生命医科学域
福島県立医科大学
自然科学研究機構生理学研究所
玉川大学脳科学研究所
理化学研究所脳科学総合研究センター
富山大学大学院医学薬学研究部
九州大学大学院医学研究院
国立遺伝学研究所
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
滋賀医科大学医学部
兵庫県立大学生命理学研究科
東京大学大学院医学系研究科
早稲田大学人間科学学術院
山梨大学大学院総合研究部
東京大学大学院理学系研究科
筑波大学
玉川大学脳科学研究所
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
京都大学医学研究科附属 脳機能総合研究センター
理化学研究所脳科学総合研究センター
名古屋大学大学院理学研究科
先端医療振興財団先端医療センター研究所
麻布大学獣医学部
東京農業大学生命科学部
立命館大学情報理工学部
山梨大学医学部
名古屋大学大学院医学系研究科

小池 康晴	東京工業大学
合田 裕紀子	理化学研究所 脳神経科学研究センター
後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科
齊藤 実	東京都医学総合研究所
酒井 宏	筑波大学システム情報工学研究科
櫻井 武	京都大学大学院医学研究科
佐藤 真	大阪大学大学院医学系研究科・連合小児発達学研究科
澤本 和延	名古屋市立大学大学院医学研究科
渋谷 克栄	新潟大学脳研究所
下郡 智美	理化学研究所 脳神経科学研究センター
杉山(矢崎)陽子	沖縄科学技術大学院大学
須原 哲也	量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
関 和彦	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所
宋 文杰	熊本大学大学院生命科学研究部
征矢 英昭	筑波大学体育系
高橋 琢哉	横浜市立大学大学院医学研究科
高橋 晋	同志社大学大学院脳科学研究科
内匠 透	理化学研究所 脳神経科学研究センター
竹居 光太郎	横浜市立大学大学院生命医科学研究科
竹内 英之	横浜市立大学医学部
竹本 さやか	名古屋大学環境医学研究所
田中 真樹	北海道大学大学院医学研究科
田中 沙織	株式会社国際電気通信基礎技術研究所
津田 誠	九州大学大学院薬学研究院
照沼 美穂	新潟大学大学院医歯学総合研究科
富田 博秋	東北大学災害科学国際研究所
中島 欽一	九州大学大学院医学研究院
中村 克樹	京都大学霊長類研究所
鍋倉 淳一	自然科学研究機構生理学研究科
西村 幸男	東京都医学総合研究所
野村 真	京都府立医科大学
橋本 亮太	大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター
花川 隆	国立精神・神経医療研究センター
花島 律子	鳥取大学医学部
馬場 広子	東京薬科大学薬学部
林(高木)朗子	群馬大学生体調節研究所
林 康紀	京都大学医学研究科
日置 寛之	順天堂大学医学部
久永 眞市	首都大学東京理学研究科
尾藤 晴彦	東京大学大学院医学系研究科
平瀬 肇	理化学研究所 脳神経科学研究センター
深井 朋樹	理化学研究所脳科学総合研究センター
藤澤 茂義	理化学研究所 脳神経科学研究センター
藤田 一郎	大阪大学大学院生命機能研究科
藤山 文乃	同志社大学大学院脳科学研究科
船橋 利也	聖マリアンナ医科大学
古市 貞一	東京理科大学理工学部
古江 秀昌	兵庫医科大学
馬塚 れい子	理化学研究所 脳神経科学研究センター
松尾 直毅	大阪大学大学院医学系研究科
松崎 政紀	東京大学大学院医学系研究科
松下 正之	琉球大学大学院医学研究科
三浦 正幸	東京大学大学院薬学系研究科
三村 将	慶應義塾大学医学部

宮川 剛	藤田保健衛生大学総合医科学研究所
宮道 和成	理化学研究所 生命機能科学研究センター
村山 正宜	理化学研究所 脳神経科学研究センター
森 郁恵	名古屋大学大学院理学研究科
森田 賢治	東京大学大学院教育学研究科
山末 英典	浜松医科大学医学部
山中 宏二	名古屋大学環境医学研究所
山本 巨彦	大阪大学大学院生命機能研究科
吉峰 俊樹	大阪大学国際医工情報センター
吉村 由美子	自然科学研究機構生理学研究科
里宇 明元	慶應義塾大学医学部
渡辺 雅彦	北海道大学大学院医学研究院
渡部 文子	東京慈恵会医科大学総合医科学研究所臨床医学研究所

組織委員

井上 和秀	九州大学大学院薬学研究院
岩坪 威	東京大学大学院医学系研究科
大隅 典子	東北大学大学院医学系研究科
岡野 栄之	慶應義塾大学医学部
岡部 繁男	東京大学大学院医学系研究科
笠井 清登	東京大学大学院医学系研究科
川人 光男	(株)国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所
高橋 良輔	京都大学大学院医学研究科
鍋島 俊隆	藤田保健衛生大学大学院医療科
東田 陽博	金沢大学子どものこころの発達研究センター
樋口 輝彦	国立精神・神経医療研究センター / 日本うつ病センター
廣川 信隆	東京大学大学院医学系研究科
本間 さと	北海道大学脳科学研究教育センター/慶愛会札幌花園病院睡眠医療センター
御子柴 克彦	理化学研究所 脳神経科学研究センター ※
水澤 英洋	国立精神・神経医療研究センター
宮下 保司	理化学研究所 脳神経科学研究センター

※組織委員長

(2018年6月現在 五十音順)

○収支予算案（2018 年 7 月時点）

収入の部		
項目	金額	備考
1. 参加費	38,930,000 円	2860 名, 懇親会参加費含む
2. セミナー共催費	8,856,000 円	7 件
3. パッケージスポンサー協賛費	6,240,000 円	3 社
4. 企業展示出展料	23,058,000 円	100 小間
5. 広告収入：HP バナー広告	432,000 円	2 社
広告収入：プログラム集広告	1,512,000 円	11 社
6. 寄付金	21,000,000 円	新潟県や各種財団等の補助金を含む
7. 学会貸付金	3,000,000 円	
合計	103,028,000 円	

支出の部		
項目	金額	備考
1. 会議準備費	<u>25,130,967 円</u>	HP・演題・参加登録システム含む 翻訳費用を含む
1) 人件費	9,535,000 円	
2) IT 制作費	4,825,200 円	
3) 印刷・製作費	9,140,135 円	
4) 通信・運搬費	1,630,632 円	
2. 会議当日費	<u>68,703,790 円</u>	
1) 会場費	17,570,557 円	
2) 機材・備品費	24,137,661 円	
3) 人件費	9,458,100 円	
4) 招聘費	7,070,535 円	
5) 会議費	8,081,780 円	
6) 運営諸経費	2,385,157 円	
3. 事後処理費	<u>5,612,490 円</u>	
4. 予備費	<u>3,580,753 円</u>	
合計	103,028,000 円	

各種広告

プログラム集広告掲載

大会ホームページバナー

スクリーン広告

フライヤーパネル

シンポジウム協賛プレゼンテーション

募集ご案内

■プログラム集広告掲載 募集要項

1. 広告媒体名 : Neuro2019 プログラム集
2. 広告媒体版型・印刷方法等
: A4 判 (天地 297mm×左右 210mm)、400 ページ想定
印刷 : オフセット印刷 表紙 4C/本文 1C、製本 : 無線綴じ
3. 発行部数 : 3,700 部
4. 配布対象 : 大会参加者
5. プログラム集発行予算 : 4,995,000 円
6. 広告掲載費 : 後付掲載面の割付は主催者に一任いただきます。

掲載面	スペース	印刷色数	掲載費	募集予定数
表 4 (裏表紙)	A4 1 ページ	カラー (4 色印刷)	500,000 円	1 枠
表 2 (表紙のウラ)	A4 1 ページ	白黒 (1 色印刷)	250,000 円	1 枠
表 3 (裏表紙のウラ)	A4 1 ページ	白黒 (1 色印刷)	250,000 円	1 枠
後付 1 ページ	A4 1 ページ	白黒 (1 色印刷)	150,000 円	最大 10 枠程度
後付 1/2 ページ	A4 1/2 ページ	白黒 (1 色印刷)	80,000 円	最大 10 枠程度

※掲載料金に消費税は含まれておりません。

7. 申込方法 : 別添の申込用紙に必要事項をご記入の上、下記申込先まで E-mail にてお送りください。
8. 申込締切日 : 2019 年 3 月 29 日 (金)
9. 原稿締切日 : 2019 年 4 月 10 日 (水)
10. 広告サイズ : 1 ページ 天地 255 mm×左右 180 mm
1/2 ページ 天地 120 mm×左右 180 mm
ブリード版 (断ち落とし) の広告はカラー、白黒共にできません。
11. 入稿形態 : 完全データ入稿 … 白黒、カラー (校正紙や出力見本を添付してください)

- データ入稿形式 :
- ①Adobe illustrator - FONT は全てアウトライン化、画像は埋込をしてください。使用した OS と illustrator のバージョンをご明記ください。入稿後は添付いただく校正紙との比較確認を印刷担当会社が行いますので、色校正は提出いたしません。予めご了承ください。
 - ②PDF FILE 入稿の場合、FONT は全てアウトライン化、画像は埋込された FILE 入稿をお願いします。MS-Word、MS-PowerPoint を利用しての PDF 保存の場合は必ず使用ソフトを明記してください。データをお受けできない場合もございます。ご了承ください。

12. 入稿方法 : 入稿データは、e-mail 添付にて申込先の展示会事務局までお送りください。
13. 広告掲載費のご請求について
: 広告掲載費のご請求はプログラム集が発行後に、広告掲載誌と同時期に発送いたしますので、広告掲載費はご請求後 1 ヶ月以内にお振込みいただけますようお願いいたします。
14. 情報公開について : 拠出いただきました協賛金につきましては、各社が公表することに同意いたします。
15. 申込先 : Neuro2019 展示会事務局 (株式会社エー・イー企画内)
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4 階
E-mail: e_neuro2019@aeplan.co.jp
TEL: 03-3230-2744

■大会ホームページバナー広告掲載 募集要項

1. 広告媒体名 : Neuro2019 大会ホームページ
2. 広告媒体形態 : バナー広告
3. 大会ホームページ : [http:// www.neuro2019.jnss.org](http://www.neuro2019.jnss.org)
2018 年 7 月 OPEN (予定)
4. 募集予定数 : 10 枠 程度
5. 表示方法 : ランダム表示 - ホームページ訪問時の click タイミング表示です。
6. 広告掲載料金 : 200,000 円 (消費税別) /1 枠
7. 申込方法 : 別添の申込用紙に必要事項をご記入の上、下記申込先まで E-mail にてお送りください。
8. 掲載期間 : 2018 年 7 月の OPEN 後から随時受付。会期後 1 か月後までの掲載を保証。
9. 掲載サイズ : 天地 80 pixels×左右 228 pixels
10. 入稿形態 : ①保存形式 - GIF (アニメーション GIF、無限ループ可)、JPEG
②保存容量 - 50Kbyte 以内
③掲載データの変更はできません。ご了承ください。
11. 入稿方法 : 上記掲載サイズで制作し、保存形式を順守し、リンク先 URL と共に入稿してください。
バナーデータ入稿後、7 営業日以内にバナー広告を掲載します。入稿データは、e-mail 添付にて展示会事務局へお送りください。
12. 広告掲載費のご請求について : 広告掲載費のご請求は、バナー広告掲載後にご請求いたします。ご請求後 1 ヶ月以内に
お振込みいただけますようお願いいたします。
13. 情報公開について : 拠出いただきました協賛金につきましては、各社が公表することに同意いたします。
14. 申込先 : Neuro2019 展示会事務局 (株式会社エー・イー企画内)
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4 階
E-mail: e_neuro2019@aeplan.co.jp
TEL: 03-3230-2744

728X80

728X90

728X90

728X90

NEURO2019 第42回 日本神経科学会 第62回 日本神経化学会
The 42nd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society The 62nd Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry

飛翔する脳科学: 命と心の接点
Brain Science Takes Flight: Bridging the Mind and Life

2019年7月25日 - 7月28日
July 25-28, 2019

会場: 朱鷺メッセ (新潟市) Venue: Toki Messe (Niigata)
会長: 岡本 仁 (理化学研究所) 会長: 那波 宏之 (新潟大学)

News & Information
2018/07/26 ホームページを公開しました。

Important Dates
登録受付開始: 2018年8月1日(水) - 10月9日(水)
登録受付終了: 2018年12月3日(月) - 2019年2月6日(水) 午後
登録受付終了: [午前]2019年12月3日(月) - 2019年4月17日(水) 午後
登録受付終了: [午後]2019年4月18日(木) - 6月13日(木)

NEURO2019 事務局 〒532-0003 大阪市東淀川区西中島2-14-14 南大谷グランドビル6F 株式会社エー・イー企画内
TEL: 06-6350-7163 FAX: 06-6350-7164 E-mail: neuro2019@aeplan.co.jp

■ 大会スクリーン広告掲載 募集要項

1. 広告媒体名 : Neuro2019 大会スクリーン広告
2. 広告媒体形態 : スクリーン広告
3. 募集内容 : 展示会場内にご用意するライブスクリーンを利用し、講演のライブ中継で使用していない間放映するスクリーン広告を募集いたします。
4. 募集予定数 : 1 枠 60 秒 / 10 枠 程度
5. 表示方法 : ループ表示
6. 広告掲載料金 : 100,000 円（消費税別） / 1 枠
7. 申込締切日 : 2019 年 5 月 17 日（金）
- 7 申込方法 : 別添の申込用紙に必要事項をご記入の上、下記申込先まで E-mail にてお送りください。
8. 掲載期間 : 展示会会期中ライブスクリーン中継未使用時
10. 入稿形式 : Microsoft PowerPoint（解像度 XGA、アスペクト比 4:3）
11. 入稿方法 : PowerPoint ファイルを下記申込先までメールにてお送りください。
12. 情報公開について : 拠出いただきました協賛金につきましては、各社が公表することに同意いたします。

■ 協賛企業フライヤーパネル 募集要項

1. 広告媒体名 : 協賛企業フライヤーパネル
2. 広告媒体形態 : 最大 A4 サイズのチラシ、フライヤー
3. 募集内容 : フライヤー配布用のパネルをポスター・展示会場内にご用意いたします。
新製品・サービスの PR や展示ブースのご案内等にご利用ください。
4. 広告協賛費 : 30,000 円（税別） / 枠
5. 申込方法 : 別添の申込用紙に必要事項をご記入の上、
下記申込先まで E-mail にてお送りください。
6. 申込締切日 : 2019 年 4 月 19 日（金）
7. パネル設置場所 : 朱鷺メッセ 展示ホール（ポスター・展示会場）
8. 必要備品 : 掲示用フライヤー（最大 A4 サイズ）はお申込各社にてご用意ください。
9. 情報公開について : 拠出いただきました協賛金につきましては、各社が公表することに同意いたします。

上記広告申込先 Neuro2019 展示会事務局（株式会社エー・イー企画内）
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4 階
E-mail: e_neuro2019@aeplan.co.jp
TEL: 03-3230-2744

■ シンポジウム協賛プレゼンテーション 募集要項

Neuro2019では、各シンポジウムの開始前に、講演会場にて3分間のプレゼンテーションができる「シンポジウム協賛プレゼンテーション」への参加を募集いたします。

プレゼンテーションの内容としては、企業PR、製品PR、展示ブースの紹介等を行うことができます。プレゼンテーションを行うシンポジウムを、ご指定いただけますので、奮ってご参加ください。

1. 申込資格 : 展示会出展者またはランチョンセミナー共催者に限ります。
2. 発表時間 : 1シンポジウムあたりプレゼンテーションを行うことができる参加社は、1社のみとし、発表時間は3分となります。
シンポジウムの指定は先着順となります。複数のシンポジウムへのお申込みも可能です。
3. 協賛費 : 30,000円（消費税別）/シンポジウム
4. 申込締切 : 2019年5月17日（金）
5. 申込方法 : 別添の申込用紙に必要事項をご記入の上、下記申込先までE-mailにてお送りください。
6. 情報公開について: 拠出いただきました協賛金につきましては、各社が公表することに同意いたします。

※シンポジウムの詳細は、後日、公開いたします。

※事前に企業協賛が確定しているシンポジウムにはお申込みいただけません。

Neuro2019

広告関係 申込書

プログラム集広告申込締切日:2019 年 4 月 10 日

申込日: 年 月 日

申込社 日本語、英語を両方ご記入ください	JPN	
	ENG	
所在地	(〒) 住所	
ご担当者	氏名	TEL
	所属部署	
	E-mail アドレス: ※申込後にご連絡いたしますので必ずご記入ください。	

1.お申込み

- ☐ プログラム集広告に申し込みます 掲載面: _____ 金額 _____ 円(消費税別)
- ☐ 大会ホームページ バナー広告に申し込みます _____ 枠 金額 _____ 円(消費税別)
- ☐ 大会スクリーン広告に申し込みます _____ 枠 金額 _____ 円(消費税別)
- ☐ フライヤーパネルに申し込みます _____ 枠 金額 _____ 円(消費税別)

通信欄 ※お問い合わせがございましたらご記入ください。

●お問合せ申込書送付先 : Neuro2019 展示会事務局 (株式会社エー・イー企画内)

E-mail(専用) e_neuro2019@aeplan.co.jp / TEL. 03-3230-2744

Neuro2019

シンポジウム協賛プレゼンテーション 申込書

申込締切日:2019 年 5 月 17 日

申込日: 年 月 日

下記のとおり、申込いたします。

貴社名

担当者名

TEL.

E-mail

お申込みのシンポジウム

◆第 1 希望

セッションNo. 日時. 月 日/時間. ~

セッションタイトル.

◆第 2 希望

セッションNo. 日時. 月 日/時間. ~

セッションタイトル.

通信欄 ※お問い合わせがございましたらご記入ください。

●お問合せ申込書送付先 : Neuro2019 展示会事務局 (株式会社エー・イー企画内)

E-mail(専用) e_neuro2019@aeplan.co.jp / TEL. 03-3230-2744